

Planning and CoordinationMACHINE TIME EXECUTIONREPORT ( 2004-2 CYCLE)

Experimental Group	T554	Reporter	中村 哲
Scheduled Period and Shift	04/06/10-06/15 14 shifts	Main, Sub, Para	Para
Experimenters S.N.Nakamura,Y.Fujii,M.Sumihama,J.Reinhold,L.Tang,T.Takahashi,Y.Sato 他多数			
<p>SUMMARY OF EXECUTION AND RESULTS</p> <p>水チェレンコフ検出器の wavelength shifter 濃度依存性に関しては予定していたデータの収集を無事終了して、現在解析中。</p> <p>また、VME , C A M A C の両方の D A Q を立ち上げ、二種類の D A Q でデータを取るとい試みも成功した。実験の最終段階では F P G A を用いたプログラマブルトリガーモジュール ( TUL-8040 ) を用いたトリガーで N I M 回路を置き換えることに成功した。</p> <p>フロリダ国際大グループは簡易 R I C H のテストを行い、現在データ解析中である。</p>			
<p>EXECUTED MACHINE TIME, BEAM CONDITION, DOWN TIME etc.</p> <p>6月12日 1 : 4 0 ~ 2 : 3 0 LINAC ダウン</p> <p>6月14日 8 : 4 5 E m i t t a n c e 測定後水漏れ 1 7 : 3 0 までビームストップ</p>			
<p>COMMENTS</p> <p>4年生の実習を行わせていただきありがとうございました。4年生も自分たちのデータを大学に持って帰り解析の実習を行っております。</p> <p>実験中、PMT信号等に20us周期、6us程度の期間80mV程度の大きなノイズが載っていました。ビームと同期していなかったため、この期間はDAQをvetoしてデータには問題はありませんが、時間効率が悪いので今後も続くようならば、原因を解明する必要があると思います。</p>			